


東京都石油コンビナート等 防災アセスメント検討会の設置

令和4年8月

東京都石油コンビナート等防災本部

1 背景・目的

- 東京国際空港において、航空機に燃料を供給する三愛オブリ(株)での石油等の貯蔵・取扱量が10万kLを超えたことから、条例の公布・施行により東京都石油コンビナート等防災本部を設置するとともに、防災計画の策定など、石油コンビナート等災害防止法に基づく対応を実施
- 石油コンビナート等防災計画には「**災害の想定に関すること**」が計画に定めるべき事項として規定（石油コンビナート等災害防止法第31条）されており、現行の防災計画では、「首都直下地震等による東京の被害想定（平成24年4月18日公表）」及び「南海トラフ巨大地震等による東京の被害想定（平成25年5月14日公表）」において想定された地震・津波の中で、最大の影響を及ぼすものを基に策定
- 一方、令和4年5月に新たな「**首都直下地震等による東京の被害想定**」が示され、これらが特別防災区域の石油タンク等へ、**どのように影響するか整理することが必要**



東京都石油コンビナート等防災本部の下に**東京都石油コンビナート等防災アセスメント検討会を設置**し、専門員による高度な科学的知見に基づき、石油タンク等が受ける影響を正確に評価し、災害予防計画の見直しに向けた検討を実施

2 検討体制

東京都石油コンビナート等防災本部の下に東京都石油コンビナート等防災アセスメント検討会を設置する。

専門員候補（案）

（五十音順、敬称略）

氏名	所属	専門分野等
稲垣 景子	横浜国立大学 大学院 都市イノベーション研究院 准教授	安全システム、都市防災
◎ 岡 泰資	横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授	火災科学、安全工学
田島 芳満	東京大学 大学院工学系研究科 教授	海岸工学
畑山 健	消防庁消防大学校 消防研究センター 技術研究部 施設等災害研究室長	地震防災、強震動地震学
三愛オブリ株式会社		特定事業所

◎ 座長